

平成26年度

# 事業報告

平成26年4月 1日から  
平成27年3月31日まで

公益財団法人地域社会振興財団

# 事業報告

当財団は、住民の日常生活圏域である地域社会における各種の課題について、基礎的総合的研究等を行うとともに、地域社会に関する施策を推進し、もって地域社会における住民の保健、医療及び福祉サービスの向上並びに文化の振興を図り、地方自治の基盤の充実に寄与することを目的として設立され、社会情勢の変化に対応しながら、地域社会のニーズに沿った事業を展開している。

なお、平成 26 年度に実施した事業は以下のとおりである。

## (1) 調査・研究事業（公益目的事業 1）

へき地など地域住民の疾病の特異性、病態生理とその原因等を明らかにし、それに対する有効な対策について基礎的・総合的な調査研究を行うほか、同地域における高齢化、少子化の進展に対応した保健・医療・福祉に係る諸施策を支援するための調査研究を実施した。

## (2) 研修事業（公益目的事業 2）

地域において保健・医療・福祉事業に携わる専門職員を対象とした最新の専門知識や技術の習得を図るための研修、地域住民を対象とした健康や医療や福祉に関する意識向上のための研修、地域医療が抱える様々な問題とその解決策を医療従事者等と地域住民とともに考え討議する事業を行った。

## (3) 交付金交付事業（公益目的事業 3）

栃木県が発売元として発行する「地域医療等振興自治宝くじ」の収益金を財源として、地方公共団体等が行う高齢社会対策大綱（高齢社会対策基本法（平成 7 年法律第 129 号）第 6 条の規定に基づき、平成 24 年 9 月 7 日閣議決定）の実現に資する事業及び学校法人自治医科大学の教育・研究に欠くことのできない施設設備の整備を支援するための交付金を交付した。

## 1 調査研究事業（公益目的事業1）

### (1) 調査・研究

当財団に設置する、地域社会健康科学研究所（6研究部門及び実験医学センター並びにさいたま支所）において、以下の調査・研究を行った。

- ① 環境医学研究部門  
地域における疾病の特性と環境要因の解明に関する研究
- ② 血液医学研究部門  
地域における疾病の特性と遺伝要因の解明に関する研究
- ③ 保健科学研究部門  
保健・医療・福祉の統合化に関する研究
- ④ 健康福祉計画研究部門
  - ア 地域医療に関する総合的研究
  - イ 地域特性を踏まえた保健・医療・福祉施策の企画・実施方法に関する調査研究
- ⑤ 病態生理研究部門
  - ア 病態検査、臨床生理等を用いた基礎的・臨床的研究
  - イ 疾患の発生機序等に関する細胞病理学的研究
- ⑥ 情報システム研究部門  
包括医療情報システムの開発に関する研究

### (2) 研究機器の整備

公益財団法人JKAの補助(補助区分は、「競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金(難病に関する研究機器の整備)」)を受けて、上記調査・研究に必要な研究機器2点を整備した。

#### ①共焦点顕微鏡用生体イメージングデバイス一式

[研究テーマ]

『難病に関する基礎的研究』

特発性血小板減少性紫斑病は診断・治療において免疫抑制などの副作用の問題がある侵襲的な検査・治療がほとんどであり、患者の身体的負担の少ない診断・治療が望まれている。本研究では、骨髄での血小板産生メカニズムの可視化を行い、その分子機構を明らかにすることで血小板減少性疾患一般の新しい診断・治療法を開発する。

## ②光学顕微鏡用凍結ミクロトームクリオスタット一式

### [研究テーマ]

#### 『難病に関する基礎的研究』

下垂体前葉ホルモン産生細胞の腫瘍化は先端巨大症、クッシング病などの難病を引き起こす危険な腫瘍である。中でも下垂体の悪性腫瘍の治療は外科的摘出術が行われるが、腫瘍構成組織の特徴を基礎医学的に知ることは、リスクの少ない完全な手術の遂行につながる。本研究では、摘出された腫瘍組織片を分析し、下垂体腫瘍の構成組織について基礎医学の立場から解明することで、新たな治療法の確立を目指す。

## 2 研修事業（公益目的事業2）

### (1) 中央研修会

地域医療情報研修センターにおいて、地域の保健・医療・福祉事業に携わる医師、看護師、医療技術者等を対象に、当該分野の専門家を講師として、最新の医療情報の講義や技術の向上を図るための研修会を13回開催した。（受講者498名）

### (2) 現地研修会

地方公共団体等が推進する健やかな長寿社会づくりに寄与することを目的として、地域の住民や保健・医療・福祉事業に携わる医師、看護師、医療技術者等を対象に、全国各地の地方公共団体等が企画する健康や福祉に関するテーマの研修を、当該団体と当財団とが共催で14回開催した。（参加者数1,964名）

### (3) 健康福祉プランナー養成塾

地域住民の社会福祉・介護サービスを実際に構想し、運営するコミュニティ・リーダーを育成するため、地方公共団体等の健康福祉行政等の企画立案に携わる保健師、医師、事務職員等を対象に、それら職種横断的な1週間程度の長期合宿形式の研修として実施した。（開催期間：平成26年7月20日～26日、塾生32名、開催場所：栃木県）

また、健康福祉プランナーとしての基礎的な知識と経験を持った方を対象とし、幅広い視野とさらなる能力を獲得し、健康福祉プランナーとしてのステップアップを目的とした『アドバンストコース』（開催期間：平成26年11月1日～3日、塾生21名、開催場所：東京都）を実施した。

### (4) 地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム

地域住民、行政・医療関係者等が、地域医療の問題を解決するためには住民の力、住民の主体的活動が重要であることを共通の認識とすること、また、そのような住民団体(住民グループ・NPO法人等)が全国的な連携をとれるようなネットワークの形成や持続的・発展的な地域医療支援活動を目的として標記シンポジウム（開催期間：平成27年2月7日～8日、参加者数98名、開催場所：東京都）を実施した。

### 3 交付金交付事業（公益目的事業3）

栃木県が発売元として発行する「地域医療等振興自治宝くじ」の収益金を財源として、以下の事業を行った。

#### (1) 長寿社会づくりソフト事業費交付金

長寿社会づくりソフト事業に積極的に取り組んでいる都道府県及び市（区）町村等を支援するため、長寿社会づくりソフト事業費交付金を交付した。

##### ① 一般事業

都道府県が主体となって行う事業47都道府県221事業に対して交付した。

##### ② 特定事業

都道府県や市区町村等が行う高齢社会対策の推進を図るための事業1県3事業並びに148市（区）町村160事業に対して交付した。

#### (2) 整備拡充事業費交付金

わが国のへき地等における地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の施設や研究機器等の設備の整備拡充を支援するため、整備拡充事業費交付金を交付した。

# 事業報告の附属明細書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

平成26年度による、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）第197条において読み替えて準用する同法第84条第1項第2号に規定する利益相反取引の内容は、下記のとおりである。

## 記

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. 取引の内容    | 地域医療等振興事業費交付金の交付（整備拡充事業費交付金交付事業分）                            |
| 2. 取引をする理由  | 学校法人自治医科大学の施設設備等の整備充実に要する財源とするため                             |
| 3. 取引をする相手方 | 学校法人自治医科大学   |
| 4. 取引金額     | 934,827,320円   |
| 5. 取引日      | 第一回目 平成26年12月26日 904,065,217円<br>第二回目 平成27年3月31日 30,762,103円 |